

BCP策定プロジェクトチーム 視察報告書

【視 察 日】令和5年11月2日（木）

【視察委員】油井 和行議員（リーダー）、山本 信行議員（副リーダー）、増田 克彦議員、
山川 智己議員、薮崎 正幸議員、八木 勝議員

【視 察 先】磐田市議会

【調査事項】磐田市議会業務継続計画（議会 BCP）について

(1) 目的

磐田市議会の議員及び事務局から、令和3年に策定した議会 BCP について、策定の経緯のほか、昨年と本年に発生した台風による豪雨災害での対応を含めた実際の議会 BCP の運用状況や課題点などを学び、本市議会における BCP 策定の参考とすることを目的とする。



(2) 磐田市議会 B C P の経緯・内容

磐田市議会では、議会 BCP について、令和3年7月から総務委員会の所管事務調査として「執行部との勉強会」や「内容の検討」などの検討を重ね、同年8月に総務委員会から議長へ BCP 策定に関する申入れが行われた。議長は、申入れを受け、9月定例会期末までを目途に策定を進める方針とし、策定にあたっては、全議員で構成される防災対策会議において検討を進めることとなった。

素案の作成については、総務委員会での先進事例を参考に、正副議長、事務局で複数回の校正を経て作成し、防災対策会議において素案の協議を重ね、同年10月に議会 B C P を策定した。

議会 BCP の見直しについては、これまで新型コロナウイルス関連の5回の修正のほか、令和4年の台風15号での対応と法律等の改正を踏まえた修正が行われている。

実際の台風災害での対応として、令和4年台風15号（R4.9.23）では、災害等対策会議を設置し、執行部報告や文書質問を行ったほか、9月定例会の会期（R4.9.7）の変更はしなかったが、被災直後の決算委員会の審査を1週間程度延期した上で審査時間の短縮を実施し、時間内に審査を終えられなかった場合、継続審査とする方針を決定した。また、令和5年台風2号（R5.6.2）については、台風15号時と同様に災害等対策会議を設置し執行部報告や文書質問を実施し、6月定例会（R5.6.15～）については、正副議長と議会運営委員会正副委員長で協議し、当初予定のとおり開会したが、一般質問についての配慮などが行われた。

(3) 課題

緊急時の会議を全員で構成しているところは、各地域の事情が共有できる点では好ましいように感じる一方、大規模災害時に全員での開催が可能かどうかという問題点もある。

また、主体となる議員・事務局の意識をどのように醸成していくか、ただ存在するだけの計画にしないためにはどう工夫していくかを考えていく必要があると感じた。

(4) 本市に反映できると思われる点

BCPは説明文主体で分かりにくい傾向にあるが、磐田市議会ではその部分をチャートで補っており分かりやすかった。議会BCPが大規模災害時等に必要不可欠であるかはプロジェクトチームの中でも意見が分かれるところではあるが、BCPで想定される事態が生じない以上、検証が難しいため、その一面を持って必要性の判断を行うのは早計であり、復旧困難な事態においていかに適正な業務を早急に戻すことができるかを念頭に置いて、このプロジェクトチームで検討を重ねていきたい。また、磐田市議会では、大規模な災害を想定した防災訓練などを実施しており、意識の高さを改めて感じた。藤枝市議会でも、BCPの策定とともに、大規模災害等を想定した情報収集や避難訓練、執行部との連携も含めた訓練を実施していきたい。